

肥後 洋一郎

http://y-higo.net/

GO! HIGO JOURNAL

2012年
初冬号

公明党 大阪府議会議員 肥後 洋一郎 府政事務所

〒572-0835 寝屋川市日之出町2-5 園貴々堂ビル203号 TEL:072-812-3140 FAX:072-812-3145



大阪府議会9月定例会 総務常任委員会

「防災減災対策に全力を!」

- 大阪880万人訓練の充実について…
- 帰宅困難者対策について…
- 南海トラフ巨大地震への対応について…
- 浸水被害軽減等について…

…質疑しました

「大阪880万人訓練の日」の制定を提案!



Osaka 8.8million drill

大阪府では「いざという時に、自分の身を守る行動ができるよう」備えていただく「きっかけ」作りのため、9月5日に大阪880万人訓練を実施しました。今回の訓練では、携帯電話会社各社の独自サービスである緊急速報メールの「災害・避難情報」機能を活用して訓練メールの発信を行いました。しかし、「災害・避難情報」の受信に対応していない機種が多く、災害発生時の情報発信の課題が明らかになりました。

肥後洋一郎は、総務常任委員会質疑のなかで「課題は多かったものの、携帯電話というツールを使うことによって日頃、防災訓練に参加したことのないような20代、30代の府民にも、自助の大切さを考えるきっかけ作りができた。来年度以降の訓練は、府民への訓練の定着に向けた工夫が必要」と主張。また、訓練のPRや市町村の防災訓練と連携しやすくするためにも、訓練日の固定化、「大阪880万人訓練の日」を制定するべきと訴えました。

松井知事は、この訴えに対し「訓練の日をあらかじめ決めておくことは参加拡大の有効な手段のひとつ。この訓練をさらに実践的、効果的なものとしていくためには、訓練と連動して、地域特性に応じた取り組みが各地で実施されることが重要。来年度は、より多くの府民に関心をもって、参加していただけるよう、先頭に立って、情報発信に力をいれていきたい。」と意欲を示しました。今後も携帯電話等の対応機種の拡充や、緊急地震速報等の活用など880万人訓練の強化・充実を求めてまいります。



自主防災訓練の様子(寝屋川市)

防災・減災ニューディールを推進し、大規模災害への対策に万全を尽くせ!

8月29日、国から南海トラフ巨大地震に関する被害想定が出されました。大阪府域では最悪の場合、死者数約9,800人、全壊建物棟数約34万4,000棟の被害が想定されています。

公明党は、老朽化した社会インフラを再整備し、災害に強いまちづくりを進め国民の命や財産を守る「防災・減災ニューディール」政策を掲げています。

肥後洋一郎は災害に強い大阪づくりを進めるべきと主張。

国から南海トラフ巨大地震の最終報告が公表されれば速やかに、地域防災計画や地震防災アクションプランの見直しを行い、一日も早く新たな計画等を策定するべきと訴えました。



また、大規模災害発生時、帰宅が困難になる、いわゆる帰宅困難者問題への更なる対策を求めました。

この質問を受け、大阪府からは「帰宅困難者を支援するために水道水、トイレ等を提供する災害時帰宅支援ステーションの拡充や、鉄道の代替輸送の円滑化など今後、帰宅困難者対策については、大阪市や関西広域連合と連携し、対策の充実を図っていく」と答弁がありました。今後も、府民の生命をまもるため、大阪府の防災・減災対策を推進して参ります。



災害時帰宅支援ステーションステッカー

豪雨対策が前進

8月14日にかけて近畿地方で発生した記録的短時間集中豪雨により、大阪府内でも北部を中心に大規模な浸水被害が発生しました。

8月29日、知事との意見交換の折にも豪雨対策などによる浸水被害の軽減対策をさらに講じられるよう知事に直接要望いたしました。

公明党の度重なる主張に対し、大阪府は、「浸水被害軽減のため、下水道増補幹線、地下河川の早期完成を目指す」としています。



工事中の寝屋川北部地下河川

ペイジー納税について

ATMやネットバンキングを利用して納税できる「ペイジー納税」は、納付の機会を拡大し、利便性を向上させる、非常に有効な手段です。肥後洋一郎はペイジー納税の導入に向け、さらに検討するよう訴えました。

